

「知を伝え、共有し、つながるための基盤としての デジタルアーカイブについて」

全国各地には、長い時をかけて収集された其々の土地ならではの貴重な歴史文化資料が保存されています。それらは、図書館（Library）だけでなく、博物館、美術館等(Museum)に、また歴史的公文書などは公文書館（Archives）等で保存されています。各資料の経年劣化や、昨今の洪水・地震など自然災害の激しさなど、危機管理的視点からも、先ず各自治体が有する史資料のデジタル化を進め、デジタルアーカイブとして保存しておくことは急務と思われます。

学習会では講師の杉本氏より、デジタルアーカイブとはどのようなものか、また、インターネット上でのデジタルアーカイブについていろいろな視点から述べていただき、デジタルアーカイブに関する理解を深めていきたいと思えます。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

日時：2020年2月8日(土)14:00～16:00（開場 13:30）

会場：大阪市総合生涯学習センター 第1研修室

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階

TEL 06-6345-5000(代) <https://osakademanabu.com/umeda/>

講師：**すぎもと しげお**
杉本 重雄 氏（筑波大学名誉教授 図書館情報メディア系）

ジャパンサーチの運営方針を決める「実務者検討委員会」メンバー、総務省「知のデジタルアーカイブに関する研究会」主査（2011～2012）、内閣府公文書管理委員会委員（2010～2014）のほか、現在、スポーツアーカイブ構想（スポーツ庁）やメディア芸術データベース（文化庁）の有識者会議等に参加している。

参加費：無料（但し資料費として500円必要）

申し込み・問い合わせ

事務局 メール info@totomoren.net

FAX 072-741-4582

主催 図書館友の会全国連絡会 <http://totomoren.net/>

後援 公益財団法人 文字・活字文化推進機構
親子読書地域文庫全国連絡会
としょかん文庫・友の会
図書館問題研究会
日本図書館研究会
公益社団法人 日本図書館協会